広報あつま
2023年 令和5年 5月号 NO.849

ATSUMA LOVERS

西日を浴びた厚真高校の土手に、フキノトウが芽吹いていました。昭和28年に定時制普通課の高校として開校して以来、今年で70周年を迎えます。高校生活も始まり、校内には新鮮な空気が流れていました。出迎えてくれたのは、温和でスリムな紳士。今春、着任した校長の佐瀬雅彦さんです。校長室で、厚高への思いを聞きました。

厚真高校校長
Vol.37 佐瀬（させ） 雅彦（まさひこ）さん

良き理解者として生徒の成長を促したい

厚真町との縁は、25年ほど前にさかのぼります。高校のバドミントン部を担当していたころ、何度かドライブイン本郷に泊まり、スポーツセンターで生徒を指導しました。「すでに『あつまスタードーム』があり、すごいものを作ったなと思ったのを覚えています」。直近の勤務先が苫小牧市内の2カ所の高校だったこともあり、厚真町への異動を予感しました。引っ越しの際、当時と変わらないスポーツセンターを見て懐かしい記憶がよみがえりました。

4月10日の始業式では、全校生に「チャレンジしなかったことを後悔しないようにして欲しい」と呼びかけました。経験から得る自信を身に付けて成長して欲しいとの思いを込めました。当初、厚高生はおとなしいと思っていましたが、廊下などで気軽に話しかけてくる生徒も多く、積極的な印象に変わったといいます。真っすぐな心を持ち、素直な生徒ばかり。「自分で何かしようという気持ちが伝わってきて、大切にしてあげたいと思っています」。

音楽や読書に加え、知人に勧められたジョギングが趣味です。豊かな自然を感じながら、マイペースで走る楽しさが、リフレッシュにもつながっています。「時間を見つけて、浜厚真にも出かけ、海を眺めたいと思っています」。

今年3月、学校運営協議会が設立され、コミュニティ・スクールとして、地域に根差した教育活動に取り組むほか、公営塾との連携も模索しています。地域住民から託された「生徒の成長につながるような教育をお願いしたい」との思いを心に秘めています。

「具体的にはこれからですが、先生や地域と共に生徒の成長を促したいですね」。

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・
みんな、みんな、ATSUMA LOVERS

発行／北海道厚真町
企画・編集／まちづくり推進課企画調整グループ
ホームページ／https://www.town.atsuma.lg.jp/

〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町120番地
電話／(0145)27-2321(代)
メールアドレス／atsuma@town.atsuma.lg.jp